

このたびは、ユピテルのオートキーレスシステムをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱・取付説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあと、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

取り付けの前に (安全上のご注意)

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付け、お使いください。ここに記載された注意事項は、取り付け・接続作業をするかたお客様への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに分けています。

- 警告** 警告を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります。
- 注意** 注意を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる可能性があります。
- 絵表示について**
- △ △記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
- ⊘ ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- ●記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

警告

取り付けには、専門知識が必要です。

取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

警告

取り付けできる車をお確かめください。

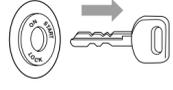
本機を取り付けられる車は、弊社オートキーレス適応表で適応車種として記載のある車のみです。適応に関するお問い合わせは、添付の一覧表をご参照のうえ、ご相談窓口にお問い合わせください。

- 次の2つの条件を満たしている車に取り付けられます。
 - ・オートキーレス適応表に適応車種として記載のある車
 - ・12V車で、⊕アースの車
- ※ターボタイマーとは併用できません。

警告

安全に作業をしていただくため取り付けの前に、次の4つのことを必ず守ってください。

- ・シフトレバーをパーキング(P)ポジションにします。
- ・キーを抜きます。



- ・パーキングブレーキを確実にかけます。
- ・ショート事故やエアバックの誤動作防止のため、バッテリーのマイナス端子をはずしておきます。



取り付け作業は、必ずエンジンがさめている状態のときに行ってください。火傷する恐れがあります。

エアバッグシステムの配線およびコネクタには触れないでください。エアバッグシステムが異常になることがあります。

メインユニットの取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。

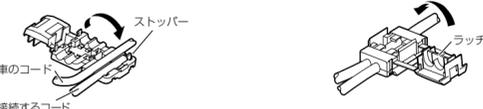
メインユニットは、取り付け・接続後、しっかりと固定してください。運転中に落下すると大変危険です。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や火災の原因となります。

エレクトロタップの使いかた

各線は以下の手順で接続してください。

- ①各線を図のストッパーに突きあて、車のコードを通して矢印のように折り返す。
- ②もう1度、矢印のように折り返す。



- ③プライヤーなどで、ラッチががむまで締め付ける。
- ④絶縁テープを巻く。

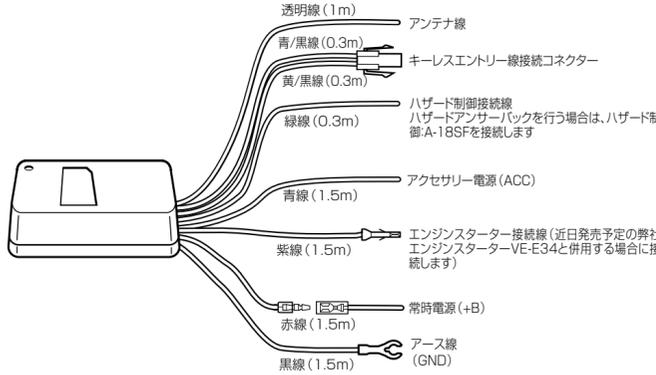


※接続された箇所(エレクトロタップ部)は、ショートや振動などにより、車にトラブルを起こす原因となることがあります。必ず絶縁テープでテーピングしてください。

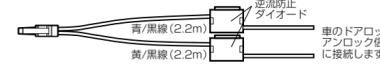
基本接続図とセット内容

接続前に、セットの内容をお確かめください。

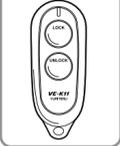
●メインユニット(1)



●キーレスエントリー線(1)



●リモコン(1)



- リモコン用電池: CR2032(2)
- 両面テープ(1)
- エレクトロタップ(5)
- タイラップ(大1,小2)
- コードクリップ(2)
- 取扱・取付説明書(本書)(1)
- お客様ご相談窓口一覧表(1)
- 保証書(1)

1 電源ラインの接続

●赤線の接続(+B電源の接続)

赤線は車のキーを抜いた状態でも通電している(常時+12V)線に、エレクトロタップを使用して接続します。

●青線の接続(アクセサリー電源の接続)

青線は車のキーと連動してON/OFF(12V/0V)に変化する線に、エレクトロタップを使用して接続します。

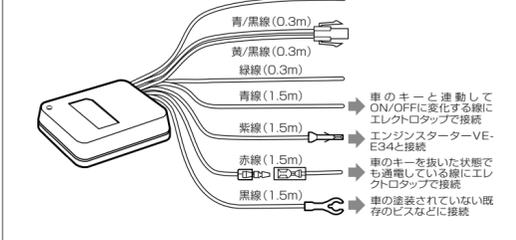
●黒線の接続(アース線の接続)

黒線は車の塗装していない既存のビスなどに、しっかりと共締めしてください。

●紫線の接続(エンジンスターター接続線の接続)

紫線は2001年8月発売の弊社エンジンスターターVE-E34と併用する場合に接続します。VE-E34以外のエンジンスターターとは接続できません。使用しない場合は切断または未接続でテープ処理してください。

●メインユニット



弊社FAX情報ダイヤルで確認した、接続先のロック時、アンロック時の電圧変化をサーキットテスターで確認してください。

■本機付属品のみでコントロールできるタイプ

通常 両方 3 ~ 12V (車によって異なります)
 ロック時 ロック信号線が0Vになり、動作後 3 ~ 12Vに戻る。
 アンロック時 アンロック信号線が0Vになり、動作後 3 ~ 12Vに戻る。
 ※車によっては 3V 以下の場合があります。

■別売オプションのドアロックリレーアダプター: A-70 を使用するタイプ

通常 両方 0V
 ロック時 ロック信号線が 12V になり、動作後 0V に戻る。
 アンロック時 アンロック信号線が 12V になり、動作後 0V に戻る。

■別売オプションの多重通信専用ドアロック・アンロックアダプター: A-71 を使用するタイプ

サーキットテスターでは確認できません。
 接続先、接続方法は弊社 FAX 情報ダイヤルでご確認ください。

FAX 情報ダイヤルに関するお問い合わせは、最寄りの弊社サービス窓口またはお客様ご相談窓口で承ります。

3 オプションの接続

1. ハザード制御の接続 (別売オプション: A-18SF 使用の場合)

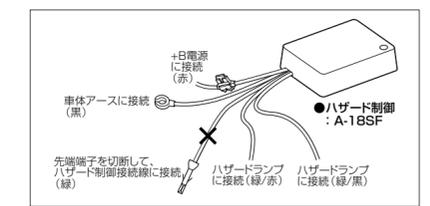
【ご注意】

ハザードランプの制御はメインユニットが行いますので、A-18SFの緑/赤線・緑/黒線を直接左右のハザードランプに接続してください。

1 ハザード制御: A-18SF 先端部分の端子を切断する。
 ※VE-E34と併用する場合は、端子を切断せず、VE-E34付属の取付説明書をご参照ください。

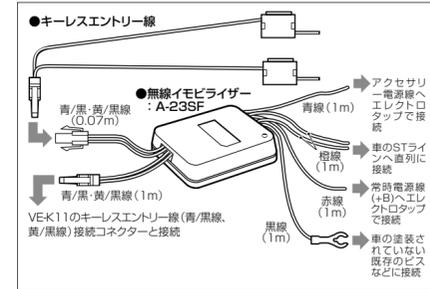
2 メインユニットのハザード制御接続線(緑線)とA-18SFの緑線をエレクトロタップを使用して接続する。

3 ハザード制御の+B電源、アース線、ハザードランプ線を接続する。



※接続は「エレクトロタップの使いかた」を参照して行ってください。接続後には、必ず接続部を絶縁テープでテーピングしてください。

2. 無線イモビライザーの接続 (別売オプション: A-23SF 使用の場合)



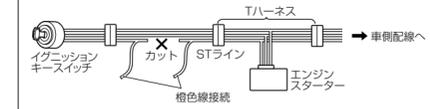
■STラインの接続

A-23SFの橙色線を、車のセル始動ライン(ST1またはST2)に、付属のエレクトロタップを使用して接続する。

※セル始動ラインが分からない場合は、カーディーラーにお問い合わせください。

●ユピテルのエンジンスターターVE-E34を併用する場合は、無線イモビライザー接続部位(STライン切断部位)よりも車側に、エンジンスターターを接続してください。無線イモビライザー設定中でも、エンジンスターターでエンジンを始動し、アイドリングをさせることができます。

●ユピテルのエンジンスターターを併用する場合のSTラインへの接続例



※ユピテルのエンジンスターターは、国産のオートマチック車で、専用ハーネスの設定がされている車種に取り付けが限定されます。詳しくは、ユピテルエンジンスターターのハーネス適合表をご覧ください。

■電源ラインの接続

A-23SFの赤線を車両の常時電源(+B)に、青線をアクセサリー電源(キーと連動してON/OFFする電源)に、付属のエレクトロタップを使用して接続する。

黒線(アース線)は、車の塗装されていない既存のビスなどに、しっかりと共締めする。

お願い

車輛の引き渡し時には、お客様に接続・設定の状況と操作の説明、特に本機機能の説明を十分に行ったうえで、保証書と本書をお渡しください。

3. 追加リモコンの登録 (別売オプション: A-102K 使用の場合)

追加リモコンをご使用になるには、以下の登録が必要です。

※メインユニット取り付け途中の場合は、安全のためすべての接続が終了してからIDの書き込みを行ってください。

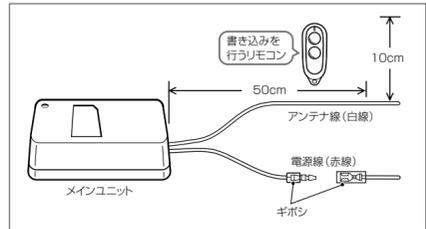
1 車のキーを抜き、車を駐車した状態にする。

2 付属のリモコン(工場出荷時に書き込まれています)はオートキーレス通信範囲外に置いておくかオートキーレス機能の動作を停止しておく。(オートキーレス機能停止: LOCKボタンを5秒以上押すとインジケータランプが3回点滅してオートキーレス機能は停止します)

3 ID書き込みを行うリモコンに電池を装着する。装着後は自動的にオートキーレス機能ONになります。

※リモコンに電池を入れる場合は、電池の向きに注意してください。

4 ID書き込みを行うリモコンを、オートキーレス機能ONの状態メインユニットのアンテナのコネクタから50cm以内の所で、アンテナ線から10cm以内に置く。



5 電源線(赤線)のギボシを接続する。すでにギボシが接続されている場合は、一度外し、再度接続する。

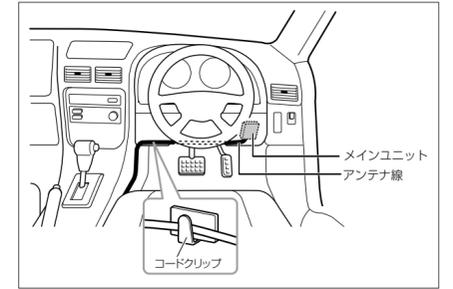
※ギボシ端子が奥まで差し込まれていることを確認してください。

6 5秒ほどで書き込みは完了します。書き込みが完了した場合は、ギボシを接続してから5秒以内にメインユニットから「ピーー」音が出力されます。また、書き込みができなかった場合は、ギボシを接続してから約5秒後に「ビッピッ」音が出力されます。

7 書き込みエラー音「ビッピッ」が鳴った場合は、上記手順4~6をもう一度やり直してください。

4 アンテナ線の取り付け

アンテナ線(透明)を切断したり、電源線や信号線と束ねたりせず、直線部を長くとるようにコードクリップを使用して配線してください。



※アンテナ線は、できるだけ車体の金属部より5cm以上離れた場所に配線してください。(通信距離に影響します)

※ラジオ、オーディオ、テレビなどの近くに配線すると、それらの影響で通信距離が短くなることがあります。また、それらの機器でノイズが発生する場合があります。

5 メインユニットの取り付け

メインユニットは、タイラップや両面テープなどを使用して、運転の妨げとならないように、センターコンソール、またはインパネのアンダーカバーの内側などにしっかりと固定し、タイラップやコードクリップを使用して配線処理をしてください。

付属の両面テープを使って仮取り付けした後、固定する。

※走行中の振動で容易にはずれないように付属のタイラップで、メインユニットを固定してください。

その他の場所に設置する場合は、次のような場所は避けてください。

- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。

6 配線処理について

すべての取り付けが終わったら、以下の要領で配線処理をしてください。配線処理は、ケーブル類の長さ、配線場所などを十分考慮して決めてください。

■タイラップによる配線処理

ダッシュボード内を通るケーブル類は、既存のハーネスなどに付属のタイラップを用いて共締めします。

余分なケーブルは束ねて共締めしてください。

※アンテナ線(透明)は束ねないでください。

■ハザード制御(別売オプション: A-18SFを使用した場合)の配線処理について

ピラーとドアのすき間から車内に線を引き込んだ場合、ドアの開閉時に線が噛まないように少したるみをもたせて配線処理をしてください。

警告

1 運転や視界の妨げにならない場所、または自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に、確実に取り付け・配線をしてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

2 エアバッグ上やエアバッグの妨げとなる場所に取り付けたり、配線しないでください。各コードが妨げとなり、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

お客様ご相談窓口

製品の取り付け、取り扱いなどでご不明な点がございましたら、最寄りの弊社営業所またはお客様ご相談窓口

0564-45-6515

までお問い合わせください。

■ご使用前に

△注意 本機の機能について

ご使用前に、この「本機の機能について」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 車から離れるときは、車のキーと本機のリモコンを必ず携帯してください。車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、故障などの場合において、本機リモコンではドアアンロックができなくなります。またラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドアアンロックできない場合があります。車のキーでエンジンを始動している場合（ACC ON以上）や、弊社VE-E34以外のエンジンスタートでエンジン始動中は、本機リモコンによるドアのロック/アンロックはできません。

- ドアロック/アンロック操作は、ドアのロック、アンロックが確認できる範囲でご使用ください。
- オートキーレスの通信範囲とマニュアル操作の通信範囲は異なります。オートキーレス機能をご使用になる場合は、ドアロックが確認できる範囲に通信範囲を切り換えて使用してください。
- オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作範囲（距離）が異なります。ドアのロックは、アンロックの動作よりも比較的遠い距離で動作します。

- 本機はダブルロック機能により、オートキーレス機能設定中にマニュアル操作通信範囲よりさらに速さかると、約16秒後に再度ドアロックを行います。
- ダブルロック機能は、ACC ONからOFFにした場合のみ動作します。また、ACC ONからOFF後、本機リモコンでドアロック/アンロック操作（マニュアル操作）を行った場合は、ダブルロック機能はキャンセルされます。
- 一部の車種においてダブルロック機能が正常に働かない場合があります。車から離れるときは、必ずドアのロック状態をご確認ください。

- リモコンの持ちかた、携帯の方法（バックの中や、ポケットの中）によっては、オートキーレスの通信範囲が狭くなる場合があります。また、エンジンスタートによるエンジン始動中は、ノイズの影響により通信範囲が狭くなることがあります。

- カーセキュリティと併用する場合は、ドアロック/アンロック時にセキュリティが反応する場合があります。セキュリティを設定する前に、マニュアル操作でドアロックを行ってください（オートキーレス動作においては、ダブルロック機能が動作してセキュリティが反応する場合があります）
- また、アンロック動作前にセキュリティ解除をおすすめします。

本機取り付けによる車や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

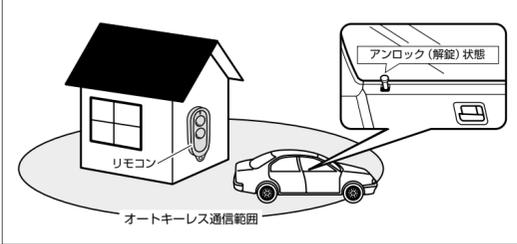
△使用上のご注意

必ず以上にオートキーレス通信範囲を広げないでください。

（オートキーレス機能の通信範囲はリモコンで変更できます。詳しくはこのページの「**4** オートキーレスの通信範囲を変更する」をご覧ください）

本機のオートキーレス機能は、リモコンから信号を自動的に送信し、車載のメインユニットが受信します。リモコンを携帯した人が近づくと、固有の信号を受信し、ドアをアンロック（解錠）します。離れると固有の信号がなくなることでドアをロック（施錠）します。

- 住居の近くに駐車している場合など、本機リモコンや追加リモコン（別売オプション）が車の近く（オートキーレス通信範囲内）にあるときは、ドアがアンロック（解錠）されます。その場合は、オートキーレス通信範囲外でリモコンを保管するか、オートキーレス機能を解除してください。



リモコンを車内に放置しないでください。

荷物の積みおろしなどで、ドアアンロックを維持する場合は、オートキーレス機能を停止してご使用ください。（オートキーレス機能中、車内にリモコンを放置していると、人の移動やドアの開閉などで、電波の受信状態が変化し、ドアがロックされることがあります）

電池の入れかた

ご購入後、はじめて本機を使用するときは以下の手順で付属の電池を装着してください。

また、リモコンのインジケータースランプが点滅したら（ローバッテリー表示）、同様の手順で新しい電池（CR2032×2）と交換してください。

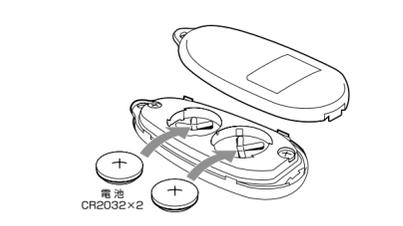
- リモコン上部にコインを差し込み、裏蓋をはずす。

※ 左右のツメを折らないように注意してください。



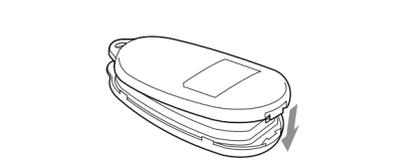
2 電池を入れる。

※ 電池の向きに注意してください。



3 裏蓋を合わせはめ込む。

※ 電池を交換すると、「オートキーレス機能を使用する」に設定されます。



△警告

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池寿命の目安

※ 電池の寿命は、使用する条件によって異なります。オートキーレス機能を使用して、約10カ月使用できます。

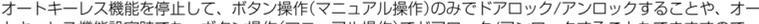
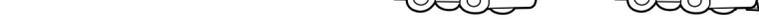
※ 指定の電池（CR2032）以外は使用しないでください。

※ 交換するときは、必ず2つとも新しい電池と取り替えてください。また、交換時には電池の向きを間違えないようにご注意ください。

ドアロック（施錠）/アンロック（解錠）システムについて

1 オートキーレス機能について

本機のオートキーレス機能は、リモコン所持者が“車から離れるとロック（施錠）”“車に近づくとアンロック（解錠）”を自動で行う画期的なシステムです。



オートキーレス機能を停止して、ボタン操作（マニュアル操作）のみでドアロック/アンロックすることや、オートキーレス機能設定時でも、ボタン操作（マニュアル操作）でドアロック/アンロックすることもできますので、必要に応じてお使いください。

また、ドアロック/アンロック操作は、ドアのロック、アンロックが確認できる範囲でご使用ください。

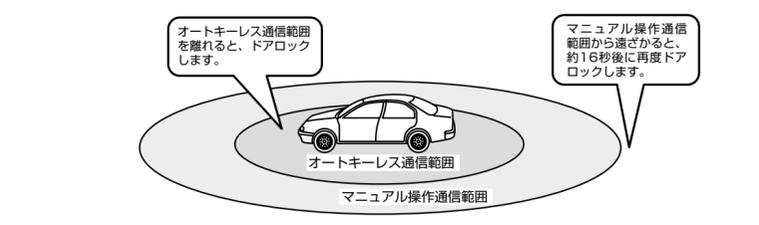
※本機リモコンがオートキーレス通信範囲内にあると、ドアがアンロックされます。その場合は、オートキーレス通信範囲外にリモコンを移動してください。また、別売 追加リモコンを登録した場合も、どちらか一方のリモコンがオートキーレス通信範囲内にあるとドアがアンロックされます。車両内にリモコンを保管する場合は、保管するリモコンのオートキーレス機能を停止してください。

※1BOXカーなどでリアハッチを開ける場合や、アンロック状態にしておきたい場合は、オートキーレス機能を停止して、本機リモコンのマニュアル操作または車のキーでアンロック状態にしてください。また、降車の際には、必ず車のキーを携帯してください。

ダブルロック機能について

オートキーレス機能設定中にマニュアル操作通信範囲より離れると、約16秒後に再度ドアロックを行います。

※ダブルロック機能は、ACC ONからOFFにした場合のみ動作します。また、ACC ONからOFF後、本機リモコンでドアロック/アンロック操作（マニュアル操作）を行った場合は、ダブルロック機能はキャンセルされます。



※一部の車種において、ダブルロック機能が正常に働かない場合があります。車から離れるときは、必ずドアのロック状態をご確認ください。

スリープ機能について

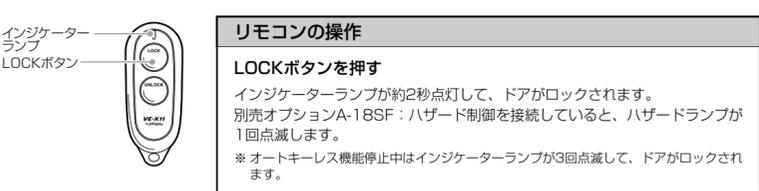
14日以上、エンジンの始動または車のキーでの操作が行われないと、車のバッテリー保護のため、スリープモードが働き、本機リモコンによるオートキーレス機能やマニュアル操作でのドアのロックやアンロックができなくなります。

スリープモードはACC ONで解除できます。

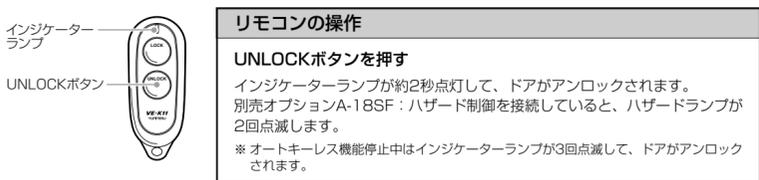
2 マニュアル操作によるドアのロック/アンロック操作について

オートキーレス機能設定中/停止中に関わらず、マニュアル操作でのドアのロック/アンロックができます。

ドアをロック（施錠）する



ドアをアンロック（解錠）する

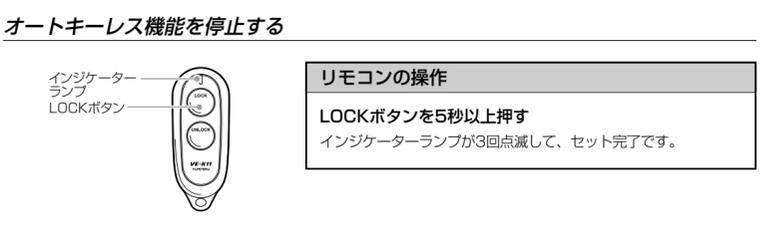


- マニュアル操作でドアをアンロックした後、車から離れる場合は、必ずドアのロック状態を確認してください。
- ※本機はオートリロック機能を搭載していませんので、オートキーレス通信範囲外でドアアンロックの操作を行った場合、ドアの開閉がない場合でも、ドアロックされません。

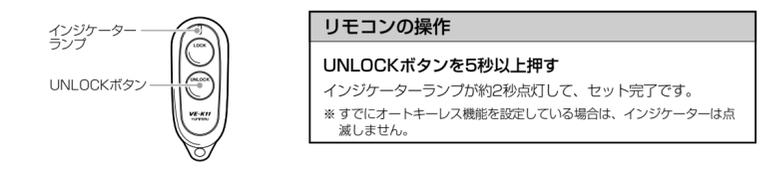
- 14日以上、エンジンの始動または車のキーの操作がないと、車のバッテリー保護のため、スリープモードが働き、本機リモコンによるオートキーレス機能や、マニュアル操作でのドアのロックやアンロック操作ができなくなります。スリープモードはACC ONで解除できます。

3 オートキーレス機能を使用する/停止する

- △ 安全のため、エンジンが停止している状態で設定を行ってください。また設定中、リモコン操作によって車のドアがロック/アンロックされますのでご注意ください。



オートキーレス機能を使用する



- ドアロック/アンロック操作は、ドアのロック、アンロックが確認できる範囲でご使用ください。
- ※ オートキーレスの通信範囲とマニュアル操作の通信範囲は異なります。オートキーレス機能をご使用になる場合は、ドアロックが確認できる範囲に通信範囲を切り換えて使用してください。
- ※ オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作範囲（距離）が異なります。

- ⓧモ リモコンの電池をはじめて装着する場合や、電池交換をした場合は「オートキーレス機能を使用する」に設定されます。

ローバッテリー時の動作について

リモコンの電池が消耗すると、常時インジケータースランプが点滅して電池が消耗していることをお知らせします。このような場合は早めに新しい電池と交換してください。さらに電池の消耗が進むと、インジケータースランプの点滅が消えて、リモコンによるドアロック/アンロック操作ができなくなります。

ローバッテリー表示時は自動的にオートキーレス機能を停止します。（ドアロック/アンロックはマニュアル操作でのみ動作します）

また、電池交換後は「オートキーレス機能を使用する」に設定されますので、オートキーレス機能の停止や通信範囲の変更が必要に応じて行ってください。

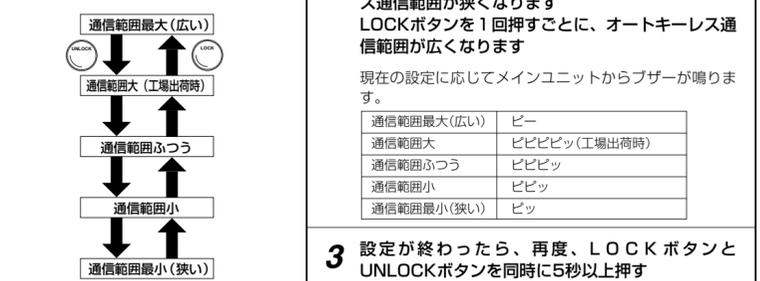
4 オートキーレスの通信範囲を変更する

オートキーレスの通信範囲は、状況に応じて5段階に変更できます。（工場出荷時は通信範囲大に設定されています）

ドアロックが確認できる範囲にオートキーレス通信範囲を切り換えて使用してください。

オートキーレス通信範囲の変更は、車内で車のキーを抜き、エンジンが停止した状態で行ってください。

※ オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作範囲（距離）が異なります。ドアのロックは、アンロックの動作よりも比較的遠い距離で動作します。



インジケータースランプが1秒間点灯し、メインユニットから“ピーピー”と鳴り設定完了です。また、10秒間操作がないとメインユニットから“ピーピー”と鳴り、変更した設定内容で終了します。（自動終了）

※ 設定を変更した場合は、安全のため、必ず実車にてご確認ください。周囲の環境によっては設定した状況と使用状況に差が生じることがあります。

- ⓧモ 車のキーをACC ONからOFFにすると、その直後のドアロック通信範囲を狭くする機能が働き、設定した通信範囲よりも狭い範囲でドアロックします。

仕様

■受信機（メインユニット）	
受信周波数	314.950MHz
電源電圧	12V車専用（DC9～16V）
消費電流	スリープ時：3mA以下 待機時：約10mA −20℃～+60℃
動作温度範囲	−20℃～+60℃
寸法	81（W）×24（H）×60（D）mm （ケーブル含まず）
重量	140g（ケーブル含む）

■送信機（リモコン）	
送信周波数	314.950MHz
適合技術基準	微弱無線機
電波型式	F2D
送信出力	500μV/m以下 3m地点にて
使用電池	リチウム電池 CR2032×2
動作温度範囲	−10℃～+50℃
寸法	31（W）×80（H）×12（D）mm
重量	27g（電池含む）

別売品

- 追加リモコン A-102K 標準価格9,800円（税別）
- 本機付属のリモコンの他に、もう1つリモコンを持つことができます。

- ハザード制御 A-18SF 標準価格5,800円（税別）
- ハザード制御を接続すると、本機リモコンによるドアロック/アンロック時に、ハザードを点滅してドアのロック/アンロックをお知らせします。

- 無線イモビライザー A-23SF 標準価格5,800円（税別）
- 無線イモビライザーを接続すると、本機リモコンでドアロックしたとき、約15秒後にイモビライザー機能が働き、車のキーではエンジンがかげられないようになります。（本機リモコンでアンロックすると、イモビライザー機能が解除されます）

- ドアロックリレーアダプター A-70 標準価格6,000円（税別）

- 多重通信専用ドアロック・アンロックアダプター A-71 標準価格5,500円（税別）

※ 別売オプションの取り付け、調整は、必ずディーラーにて行ってください。

※ 別売オプションの取り付け、調整は、必ずディーラーにて行ってください。

※ 別売オプションの取り付け、調整は、必ずディーラーにて行ってください。

※ 別売オプションの取り付け、調整は、必ずディーラーにて行ってください。

アフターサービスについて

■保証書（別に添付してあります）
保証書は、ご購入日より長い使用年数などの記述をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのこととさせていただきます。

■保証期間
ご購入日より1年間です。

●対象品
メインユニット、リモコン、電池等（消耗部品を除く）対象となります。

■修理を依頼されたとき
本書をお読みになり、お異議のあるときは、故障状況を詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき
恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき
取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点はお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部（添付の一覧表をご参照いたします）にお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損またはもう1つ追加する場合は
スベアのリモコンをお買い求めいただけます。ご使用になるには、本書の追加リモコンの登録手順にしたがって、新しくIDコードを設定する必要があります。お買い上げの販売店にご依頼ください。

※ 本機付属のリモコンと別売オプションの追加リモコンを併用している場合で、付属のリモコンが故障した場合は、修理をご依頼ください。また紛失した場合は、別途付属リモコンをご注文ください。別売オプションの追加リモコンを2台登録することはできません。

「取扱・取付説明書」にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。本機取り付けによる車や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※ 別売オプションの取り付け、調整は、必ずディーラーにて行ってください。

※ 別売オプションの取り付け、調整は、必ずディーラーにて行ってください。